

代田区民センターだより

No. 56 2025 年 7 月 代田区民センター運営協議会 電話 6407-8408

第27回 運営協議会総会開催

4月15日（火）に開催され、34名（委任状12名含む）の委員が出席、会議の成立が確認されました。

梅垣会長、生垣地域振興課長の挨拶ののち、梅垣会長の議長のもと次の案件について諮問があり、全員一致で承認されました。

【審議事項】

(1) 2024 年度事業報告

主な事業（①施設の使用に関する事業②コミュニティ形成を促進するための事業③その他の事業（会議等））に関して映像による報告がなされました。

(2) 2024 年度決算監査報告

監査の結果、決算書のとおり相違ないことが報告されました。

(3) 2025 年度事業計画

△主な事業計画▽

- ・ コミュニティ事業
 - ・ 作品展示会事業
 - ・ わくわく子ども教室事業
 - ・ 代田区民センターだよりの発行
 - ・ 児童館、図書館との連携事業
- (4) 2025 年度予算の変更
変更後予算 3,590,196 円

(5) 運営協議会相談役の退任および後任
西川進氏が退任され、遠藤幸一氏

が就任されました。西川様、長年に渡りご協力頂き誠にありがとうございました。遠藤様、宜しくお願い致します。

(6) 報告事項

・ 事務局体制について

河中事務員が退職、村山事務員が異動となり、新たに成田事務員、金子事務員、足立事務員が着任いたしました。

以上



〈2025 年度 運営協議会委員〉

（相談役）恩田 照安

遠藤 幸一

（会長）梅垣 直

（副会長・事業委員長）

高村 嘉代子

桑野 晴子

（副会長・会計・副事業委員長）

猪鼻 妙子

（会計）

野澤 みき江

（監事）

手嶋 きみ子

山崎 泰子

（委員）

秋元 正美、磯崎 元彦、

伊藤 信男、宇田川 裕文、

榎本 洋子、太田 昭子、

大場 恵子、岡野 奈々、

狩野 千賀子、河野 清、

河野 素子、小寺 厚宏、

佐々木 功子、篠崎 弘美、

長谷川 恵子、日原 優子、

平山 恭子、藤田 美江、

細谷 佐治子、松村 良子、

松本 眞知子、光岡 明子、

光岡 久恵、宮崎 雅史、

村井 瑞穂、吉田 いづみ、

渡辺 明男（以上 36 名）



コミュニティ教室

☆実技教室

「着物のハギレで作る「お正月飾り」」

12月18日(水)

講師 岡野 奈々

(日本刺繍作家)

12月18日、着物のハギレを使ったお正月飾りを作る講座が開催され、15名が参加しました。講師を務めたのは、美しい着物姿が印象的な日本刺繍作家の岡野奈々氏。アシスタントの佐藤講師と共に、参加者一人ひとりに丁寧な指導を行いました。

講座はまず、色とりどりのハギレ選びからスタート。岡野講師が用意



した豊富な種類のハギレの中から、参加者たちは完成品を想像しながらお気に入りの材料を選びました。多種多様なハギレを前に、どの組み合わせにするか、参加者にとって最も悩ましい時間だったようです。作業は、紅白の水引をねじって輪を作ることから始まりました。次に、選んだハギレを組み合わせて美しい花を作り、さらにオリジナルのクルミボタンを制作。これらをタペストリーに飾り付けて、世界に一つだけのお正月飾りが完成しました。

会場では、参加者同士がお互いに教え合う姿も見られ、終始和やかな雰囲気になりました。最後に、全員の作品を机に並べて鑑賞会が行われ、個性豊かな作品を前に話が弾み

ました。参加者からは、「親切な指導に感謝しています」「ハギレを選ぶのが難しかったけれど、楽しかった」「素敵なタペストリーができて嬉しい。また参加したいです」といった感想が寄せられました。

材料の準備から細やかな指導まで惜しみなく提供してくださった岡野講師と佐藤講師に深く感謝します。今回の講座は、日本の伝統文化に触れながら、新たな年を迎える準備をする良い機会となりました。

☆歴史教室

「街道の宿場町と街並み保存」

2月27日(木)

中山道木曾路

講師 藤島 幸彦

(早稲田大学講師)

私は以前、世田谷区喜多見にある次太夫堀公園民家園で、ボランティアをしていた。そこには、世田谷区内に江戸後期から明治初期にかけて存在した古民家を移築復元した、農村風景が再現してある。私は、古民家に興味をもっているので講座を受講した。

先生は、中山道の妻籠宿の保存の例をあげた。妻籠宿は、明治になって鉄道の敷設から外れてしまった。住民は、それをチャンスと捉え、妻籠宿全体の景観を保存することを決めた。建物、屋敷、農耕地、山林等について、「売らない、貸さない、

壊さない」の三原則を貫くことを決めたという。そして今、人気の観光地となっている。

古い町並みを見るポイントとは、整然と並ぶ建築物の美しい景観を鑑賞すること。建築外観は一階だけでなく、二階や屋根にも注目することで、意外なデザインを発見できるかもしれないとのことであった。

早速、次太夫堀公園の古民家を見に行った。

(参加者M・M様より寄稿)



☆植物教室

「春の赤城自然園 植物探訪」

5月21日(火)・22日(水)

講師 セタがや自然環境保全の会

最高気温が30度を超えるという予報の5月21日。代田コミュニティ植物教室で群馬県の「赤城自然園」に行きました。

ここで、植物のたくさんの方のふしぎを「セタがや環境保全の会」の講師の先生に教えていただきながら現地見学観察会です。4つの班に分かれての行動なので小さな質問にもすぐに答えてもらえます。観察会というよりも雑談をしながらの楽しい散策でもありました。その一方で、全く目立たない葉っぱの裏や草木の根も



サラサドウダン



と、ふつうは目が届かない高い樹のつべんにある神秘を、先生は一つ一つ示して丁寧に説明されます。前日の講義での予備知識をもとに、なるほどと感心し、実物を観て大いに感動し。丹念にメモを取る方、素晴らしいアングルで次々写真に収めていく方、皆さんとても忙しそうです。私は耳を傾けることに必死。教えていただいた知識を頭の中に整理して留め置く余裕がありませんでした。けれども個人で歩いていたのは決して見つける事のできない多くの感動を味わう事ができました。熱中症が心配されるような天候でしたが樹々に創ってもらった木漏れ日とそよ風、道に敷き詰められた樹皮のおかげでなんとか歩き終える事もできました。新緑の季節の観察会

でまさに森林セラピーを体感した一日となりました。帰宅してからはガイドブックをめくって森の景色を思い起こし余韻を楽しんでいます。いつもステキな企画・運営をしてくださる運営協議会、セタがや環境保全の会の皆様のお骨折りに感謝です。本当にありがとうございました。

(参加者M・Y様より寄稿)



ハンカチノキ



サラサドウダン



ハナイカタ



ミズバショウ

わくわく科学あそび

【内容】

雲ってなんだ？

雲の標本づくり

地域の子どものための科学への興味関心を育むことを目的としたイベント「わくわく科学あそび」が開催されました。2日間で延べ100組の保護者と子どもたちが参加し、身近なものを使った実験を通して科学の面白さを体験しました。

1回目

6月15日(日)午前の部・午後の部

2回目

6月22日(日)午前の部・午後の部

講師 坂口 美佳子

(科学読物研究会)

今回のテーマは「雲」。普段何気なく見上げている雲が、大気と水蒸気、そして光の働きによってどのようにしてできるのか、その仕組みについて坂口先生からわかりやすい説明がなされました。子どもたちはちよつと難しい言葉にも熱心に耳を傾け、雲の成り立ちに関するクイズにも元氣よく答える場面も見られました。

続いて行われたのは、ペットボトルを使った雲を作る実験です。坂口先生の指導のもと、子どもたちは保護者と協力しながら、ペットボトルの中にアルコールを少量入れ、空気を入



すると、ペットボトルの中に白い霧のような雲が現れ、参加者からは驚きの声と歓声が上がりました。実験後には、なぜペットボトルの中に雲ができたのか、その原理についても分かりやすい解説が行われました。

実際に雲を作ることで、教科書で学ぶ知識だけでなく、子どもたちにとって科学への興味が湧き、日常生活の中にも科学的な視点を持つきっかけになればと思います。また、保護者と子で共通の課題に取り組むことで会話が生まれ、その絆がより一層深まることを期待しています。参加した保護者からは、「家にあるもので簡単にできる実験だったの

で、帰ってから子どもと一緒に試してみたい」「普段はなかなかゆつくりと子どもと向き合う時間がないので、こういったイベントは貴重です」といった声が聞かれました。



今後の予定

【コミュニティ講座】

文学教室（7月30日）
実技講座「折り紙」（8月24日）
秋の植物教室（10月7日・8日）
美術教室（10月22日）
実技講座「木目込み人形」（11月）

実技講座「フラワーアレンジ」

（12月）

歴史教室（2月）

【センターまつり（10月18日・19日）】

作品展示会・舞台芸術発表会

児童館祭り・図書館講演会

【わくわく子ども事業】

お年寄りに学ぶつどい（10月19日）

児童館・図書館とのコラボ企画

（2月7日）

*実施時期や講座内容は変更になる場合があります。

*実施内容・参加者募集等は「区のお知らせ（25日号）」にてお知らせします。

【事務局より】

事務員の河中ひで子が退職、村山富美子が異動し、新たに、成田峰、金子利津子、足立佳子が就任いたしました。よろしく願います。

【編集後記】

戦後80年という節目の今年、新聞やテレビからは改めて平和の大切について考えさせられる記事が目につきます。中東情勢では核の脅威が現実のものとして語られ、私達を不安にさせています。

身の回りでも物価高や米不足、異常気象等気になるニュースが続いています。そのような中でも前を向いて明るい明日を信じて頑張りたいものです。

H・K